



尚美学園大学

大学基本情報 2026

(データは注記のない限り 2026 年 5 月 1 日現在)
※音楽表現学科、音楽応用学科、舞台表現学科は、
2026 年 4 月、学生募集停止
※芸術表現学科は、2026 年 4 月開設

教育研究上の目的

□ 大学

学則 第 1 条 (目的)

本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、「智と愛」を建学の精神とし、総合的科学的思考の涵養を教育方針として、広範な教養を授けるとともに、芸術と情報及び政策を専門的かつ学際的に教授研究し、その深奥を究めて、各分野において指導的役割を果たしうる創造力と表現力並びに実践力を有する人材を育成することを目的とする。

学則 第 1 条の 2 (学部及び学科の目的)

本学に置く学部及び学科の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

芸術情報学部

芸術と情報技術を駆使した多様な表現を追求し、情報表現及び芸術表現における幅広い分野にわたっての専門的、総合的能力を活かして時代を先導する人材を養成することを目的とする。

情報表現学科

社会の高度情報化において、従来の芸術教育に情報・メディアコミュニケーションを統合した先見的な教育研究を行うことを目的とする。

音楽表現学科

クラシック、ポップスの各分野における専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

音楽応用学科

音楽ビジネスの世界における音楽制作と音楽産業の各分野の専門性の追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

舞台表現学科

舞台における表現を実践的かつ理論的に追求し、舞台芸術の伝統を踏まえ、あらゆる視座から将来への可能性を広げる教育研究を行うことを目的とする。

芸術表現学科

パフォーマンス、クリエイティブ、ビジネスの各領域を実践的かつ論理的に追求し、デジタル社会で必要とされる新世代のエンタテインメントに関する教育研究を行うことを目的とする。

総合政策学部

現代社会におけるさまざまな政策課題を、政治、経済、法律、情報、文化などの諸分野にわたって研究し、問題発見—問題解決型の思考様式に基づいて政策立案できる人材を養成することを目的とする。

総合政策学科

社会科学の専門的知識を学び、国、地方自治体、企業、団体などの抱える政策課題を研究し、そのうえで問題解決を図ることができるような人材を養成することを目的とする。

スポーツマネジメント学部

スポーツマネジメント学科

多角的な視点からスポーツに対する理解を深め、現代社会における多様な課題を探索、解決できる人材を養成すること、また、マネジメントの視点から、スポーツにおける多様な価値を実践的、論理的に追求する教育研究を行うことを目的とする。

□ 大学院

学則 第59条（修士課程）

本学の大学院の修士課程は、広い視野に立って精深な学識を受け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うものとする。

学則 第59条の2（研究科及び専攻の目的）

本学に置く研究科及び専攻の人材養成及び教育研究上の目的は、次のとおりとする。

総合政策研究科

国及び地方自治体並びに企業等で活躍し得る豊かな創造性と的確な判断力を備えた高度の専門的能力を持った職業人を養成する。

政策行政専攻

ガバナンス・個別政策研究及び国際関係・地域研究を主たる研究対象とし、行政に重点を置いた政策の立案・実施・評価に関する教育研究を行うことを目的とする。

芸術情報研究科

様々な芸術表現の可能性やメディアを駆使した芸術を多角的に追求するため、社会的、国際的に通用する情報表現及び音楽表現における幅広い分野にわたって高度の専門的能力を持った職業人を養成する。

情報表現専攻

CG・映像、音響、コミュニケーションデザイン及び美術理論の各分野に関する幅広い基礎の上に新しい時代のメディアコンテンツの制作や研究開発に関する教育研究を行うことを目的とする。

音楽表現専攻

器楽、声楽、ジャズ&コンテンポラリー、音楽創作、アート・マネジメント、音楽教育及び音楽理論の各分野に関する個々の分野での高度の専門性を追求と同時に多角的な視座を養う教育研究を行うことを目的とする。

入学定員・収容定員

□ 大学

学則 第4条（学部）

本学の学部、学科、その収容定員は、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員	編入学定員	収容定員
(1) 芸術情報学部	情報表現学科	250名	20名	1,040名
	音楽表現学科	—	—	—
	音楽応用学科	—	—	—
	舞台表現学科	—	—	—
	芸術表現学科	150名	10名	620名
(2) 総合政策学部	総合政策学科	100名	10名	420名
(3) スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	160名	10名	660名
合計		660名	50名	2,740名

□ 大学院

学則 第5条 (大学院)

本学に大学院を置き、課程は修士課程とし、研究科、専攻、その収容定員は、次のとおりとする。

研究科	専攻	入学定員	収容定員
芸術情報研究科	情報表現専攻	20名	40名
	音楽表現専攻	10名	20名
総合政策研究科	政策行政専攻	10名	20名
合計		40名	80名

入学者受入方針、教育課程編成・実施方針、学位授与方針

□ [3つのポリシー](#)

学修成果の評価の基準

□ [アセスメント・ポリシー](#)

教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力

□ [学部・学科・大学院](#)

校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

- [キャンパス案内](#)
- [大学までのアクセス](#)
- [学生の修学、進路選択及び心身の健康等の支援](#)
- [メディアセンター](#)
- [メディアセンター蔵書数](#)

図書		学術雑誌		視聴覚資料 (点数)	電子ジャーナル (種類)
冊数	うち外国書	種類	うち外国書		
144,721	22,204	820	146	31,148	16

学修の成果にかかる評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

□ 大学

学則 第29条（授業科目）

授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。授業科目は、教授会の定めるところに従い、各年次の春学期又は秋学期に配当する。

- 2 各学期に配当された科目は、その学期に限り履修することができる。ただし、下級学期に配当された授業科目を上級学期において履修することは妨げない。
- 3 各学期に履修できる授業科目は、第31条に定める単位の計算方法に基づき、22単位を上限とする。ただし、自由科目はこれに含めない。
- 4 各学期に演習を2単位以上履修し、第42条に定める評点について、別途各学部で定める内規により一定の基準を満たす者に対し、26単位までの履修を認めることがある。
- 5 授業科目の種類、単位数等は、別表第1のとおりとする。
- 6 授業科目の履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

学則 第30条（授業の方法）

授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

学則 第31条（単位計算方法）

授業科目の単位計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 外国語科目については、30時間の授業をもって1単位とする。
 - (4) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、10時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究、卒業演奏及び卒業作品の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を与えることができる。

学則 第32条（単位の授与）

授業科目を履修し、第41条に定める審査方法に合格した者には、所定の単位を与える。

学則 第34条（成績評価基準等の明示等）

各学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

- 2 各学部は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

学則 第41条（審査方法）

学業成績については、学期末試験、中間試験、授業内評価等の成績を勘案して審査する。

- 2 やむをえない理由のため、学期末試験を受けられなかった授業科目については、追試験を受けることができる。
- 3 学期末試験及び追試験を受けなかった授業科目については、その理由のいかんにかかわらず不合格とする。
- 4 不合格科目については、改めて履修することを妨げない。
- 5 外国語、情報科目、特論、基礎演習、演習及び総合演習等、試験あるいは試験のみによる学業成績の審査を適当としない授業科目については、教授会が他の審査方法を定めることがある。
- 6 各試験の時期等については、別に定める。

学則 第42条（成績）

授業科目の試験等の成績は、秀、優、良、可、不可の5種の評語をもって表わし、秀、優、良、可を合格、不可を不合格とする。合格した授業科目については、所定数の単位を与える。

- (1) 学業成績の到達度は、平均評点値をもって表示する。
- (2) 平均評点値は、履修した自由科目を除くすべての授業科目の各評語について、1単位あたり秀4点、優3点、良2点、可1点、不可0点の評点を与えることによって算出する。
- (3) 各授業科目の担当者は、履修者に与えた評語の比率を開示しなければならない。

学則 第43条（授業評価）

各学期末に、各授業科目について担当教員に対する履修者の評価を調査しなければならない。

学則 第52条 (卒業)

本学学部にて4年以上在学し、次表の条件を満たし、かつ124単位以上を修得した者については、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。ただし、第4年次において原級にとどめられ、春学期において卒業要件を満たした者は教授会の議を経て、学長が卒業を認定することがある。

科目	学部、学科	芸術情報学部	総合政策学部	スポーツマネジメント学部
		情報表現学科 音楽表現学科 音楽応用学科 舞台表現学科 芸術表現学科	総合政策学科	スポーツマネジメント学科
(1) 教養科目		24 単位以上	26 単位以上	30 単位以上
(2) 専門科目		76 単位以上	74 単位以上	70 単位以上
(3) 全学オープン選択科目		24 単位以内		
合計		124 単位以上		

2 所属学部の許可を得て他学部他学科の専門科目を履修した場合、所属学部の定める単位数の授業科目を当該学部又は学科の専門科目の修得単位にかえることができる。

3 全学オープン選択科目とは上表(1)及び(2)の修得単位の要件を満たした上、これら諸科目に属する他学部他学科の授業科目を自由に選択し、かつ卒業に必要な修得単位数に算入できるものをいう。ただし、他学部他学科の授業科目の履修については当該学部の許可を要する。

□ 大学院

学則 第65条 (履修方法)

学生は、大学院に2年以上在学し、次に掲げる各専攻の授業科目を30単位以上修得しなければならない。

芸術情報研究科情報表現専攻

専門科目

選択必修

6 単位以上

選択

18 単位以上

(音楽表現専攻の科目を2科目4単位まで修得できるものとする。)

(総合政策研究科の科目を2科目4単位まで含むことができる。)

論文・制作特別演習(必修) 6 単位

芸術情報研究科音楽表現専攻

専門科目

選択必修

8 単位以上又は16 単位以上

選択

18 単位以上又は10 単位以上

(情報表現専攻の科目を2科目4単位まで含むことができる。)

修士リサイタル及び修士副論文又は修士論文(選択必修) 4 単位以上

総合政策研究科政策行政専攻

基本科目

8 単位以上

関連科目

14 単位以上

総合政策特殊研究

8 単位

2 履修方法に関し必要な事項は、別に定める。

学則 第73条 (課程修了の要件及び認定)

大学院を修了するためには、第60条に規定する標準修業年限以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文(修士論文並びに修士制作及び修士演奏を含む。以下この条において同じ。)又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格しなければならない。ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げたと認められる者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 大学院修了の認定は、研究科委員会が行う。なお、第2年次において原級にとどめられ、春学期において修了要件を満たした者は研究科委員会の議を経て、修了を認定することがある。

3 学位論文の審査及び最終試験については尚美学園大学大学院学位規程(以下「学位規程」という。)の定めるところによる。

成績評価の指標（GPA）の概要

□ 本学で成績評価の指標とする GPA（Grade Point Average）の算出方法

○本学におけるGPAの内容(指標の算出方法)

各学期末に行われる成績評価(総合点)によって行う。

100～60 点は合格、59 点以下は不合格。カッコ内はグレードポイント（GP）

秀(4)100～90 点、優(3)89～80 点、良(2)79～70 点、可(1)69～60 点、不可(0)59 点以下、失格・欠席(0)

GPA の計算式：GPA=(GP×単位数)の総和÷履修単位数の総和

(GPA は、小数点第三位の値を四捨五入し、小数点第二位までとする)

○本学におけるGPAの適切な実施状況

本学では春学期(前期)及び秋学期(後期)終了後、それぞれ確定した成績をもとに GPA 計算式により算出し、成績表に過去の GPA の数値の推移とともに記載し、学生にフィードバックしている。その GPA の状況により、指導担当者(アドバイザー)より履修指導を実施している。また、GPA が基準を上回った場合には、履修上限単位数を 22 単位から 26 単位にする対応も行っている。

○授業の成績分布状況は、学期毎に成績評価の比率(指標の比率)を公表している

取得可能な学位

□ 大学

学 部	学 科	学位名称
芸術情報学部 Faculty of Informatics for Arts	情報表現学科 Department of Information Expression	学士（芸術情報）
	音楽表現学科 Department of Music Expression	学士（芸術情報）
	音楽応用学科 Department of Music Business Development	学士（芸術情報）
	舞台表現学科 Department of Performing Arts	学士（芸術情報）
	芸術表現学科 Department of Artistic Expression	学士（芸術情報）
総合政策学部 Faculty of Policy Management	総合政策学科 Department of Policy Management	学士（総合政策）
スポーツマネジメント学部 Faculty of Sport Management	スポーツマネジメント学科 Department of Sport Management	学士（スポーツマネジメント）

□ 大学院

研究科	学 科	学位名称
芸術情報研究科 School of Informatics for Arts	情報表現専攻 Division of Media Arts	修士（情報表現）
	音楽表現専攻 Division of Musical Arts	修士（音楽表現）
総合政策研究科 School of Policy and Management Studies	政策行政専攻 Public Policy and Administration Studies	修士（総合政策）

授業科目

□ [WEBシラバス](#)

資格の取得

□ [教職課程](#)

□ [学芸員課程](#)

□ [その他資格](#)

○サッカー審判員

公益財団法人日本サッカー協会の審判員制度である「サッカー審判員4級」の資格を1年次に原則取得し、4年間更新を行っています。また、その中でも優秀な審判員は、「同審判員3級」の資格を取得しています。

公益財団法人日本サッカー協会／審判員に関するHP：<http://www.jfa.jp/referee/system/>

○日本語能力試験N1取得

現在、本学では240名（2026年5月1日現在）の留学生在籍し、日本で就職を目指す留学生には最低限必要となる「日本語能力試験N1」の資格取得を積極的に勧めています。そこで、本学後援会（保護者組織）からの補助を活用し、N1合格者に対して受験料の補助を行っております。

過去のN1合格者で補助を利用した留学生は以下の通りです。

2022年度：18名

2023年度：8名

2024年度：11名

2025年度：6名

※補助を利用した人数であり、合格者が上記数より多いことがあります。

主催：公益財団法人日本国際教育支援協会／独立行政法人国際交流基金 HP：<http://info.jees-jlpt.jp/what/>

海外協定校

□ [海外交流・研修](#)

学事予定

□ 2026年度（2026年4月1日現在）

	月	火	水	木	金	土	日					
4月			1	2	入学式	3	新生・在学生対象 オリエンテーション					
						4	在学生対象 オリエンテーション					
	6 ①	春学期開講 抽選申請期間 (~4/10)	7 ①	8 ①	9 ①	10 ①	11	12				
	13 ②	履修登録期間 (~4/17)	14 ②	15 ②	16 ②	17 ②	18	19				
	20 ③		21 ③	22 ③	23 ③	24 ③	25	26				
27 ④		28 ④	29 ④	昭和の日 (平常授業日)	30 ④							
5月						1 ④	2					
	4	みどりの日	5	こどもの日	6	振替休日	7 ⑤	8 ⑤	9	10		
	11 ⑤		12 ⑤	13 ⑤	14 ⑥	15 ⑥	大学説明会(都内)	16	17			
	18 ⑥		19 ⑥	20 ⑥	21 ⑦	22 ⑦	23	24				
	25 ⑦		26 ⑦	大学説明会(大学)	27 ⑦	28 ⑧	29 ⑧	30	31			
6月	1 ⑧	2 ⑧	3 ⑧	4 ⑨	5 ⑨	6	7					
	8 ⑨	9 ⑨	10 ⑨	11 ⑩	12 ⑩	13	14					
	15 ⑩	16 ⑩	17 ⑩	18 ⑪	19 ⑪	20	21					
	22 ⑪	23 ⑪	24 ⑪	25 ⑫	26 ⑫	27	28					
	29 ⑫	30 ⑫										
7月			1 ⑫	2 ⑬	3 ⑬	4	5					
	6 ⑬	7 ⑬	8 ⑬	9 ⑭	10 ⑭	11	12					
	13 ⑭	14 ⑭	15 ⑭	16 ⑮	授業/期末試験	17 ⑮	授業/期末試験	18	19			
	20 ⑮	海の日 授業/期末試験	21 ⑮	授業/期末試験	22 ⑯	授業/期末試験	23	24	25	26		
	27	実技試験	28	実技試験	29	実技試験	30	実技試験	31	レッスン&アドバイス		
8月							1	2				
	3	追試験	4	5	6	7	オープンキャンパス	8	9			
	10	11	山の日	12	13	14	15	16				
	17	18	進級・卒業判定 教授会	19	20	9月卒業発表	21	オープンキャンパス	22	23		
	24	25	26	再試験	27	28	オープンキャンパス	29	30			
	31											
9月		1	追加卒業判定 教授会	2	3	追加卒業発表	4	5	レッスン&アドバイス	6		
	7	8	9	10	9月学位授与式	11	12	13	オープンキャンパス			
	14	15	16	17	18	19	20					
	21	敬老の日	22	国民の休日	23	秋分の日	24 ①	秋学期開講 抽選申請期間 (~9/30)	25 ①	26	総合型選抜Ⅰ期	27
	28 ①	29 ①	30 ①									

		月		火		水		木		金		土		日	
10月								1 ②	履修登録期間 (~10/7)	2 ②		3		4	
		5 ②		6 ②		7 ②		8 ③		9 ③		10	総合型選抜Ⅱ期 大学院選抜Ⅰ期	11	
		12 ③	スポーツの日 (平常授業日)	13 ③		14 ③		15 ④		16 ④		17	(川越まつり)	18	(川越まつり)
		19 ④		20 ④		21 ④		22	尚美祭準備 (休講)	23	尚美祭準備 (休講)	24	尚美祭	25	尚美祭
		26	尚美祭片付け (休講)	27 ⑤		28 ⑤		29 ⑤		30 ⑤		31			
	11月														
		2 ⑤		3	文化の日	4 ⑥		5 ⑥		6 ⑥		7	総合型選抜Ⅲ期 特別選抜A日程 編入学選抜Ⅰ期	8	
		9 ⑥		10 ⑥		11 ⑦		12 ⑦		13 ⑦		14		15	
		16 ⑦		17 ⑦		18 ⑧		19 ⑧		20 ⑧		21	学校推薦型選抜Ⅰ期	22	
		23 ⑧	勤労感謝の日 (平常授業日)	24 ⑧		25 ⑨		26 ⑨		27 ⑨		28		29	
		30 ⑨													
12月				1 ⑩		2 ⑩		3 ⑩		4 ⑩		5	総合型選抜Ⅳ期 大学院選抜Ⅱ期	6	
		7 ⑩		8 ⑩		9 ⑪		10 ⑪		11 ⑪		12		13	オープンキャンパス
		14 ⑪		15 ⑪		16 ⑫		17 ⑫		18 ⑫		19	特別選抜B日程 学校推薦型選抜Ⅱ期	20	
		21 ⑫		22 ⑫		23 ⑬		24 ⑬		25 ⑬		26		27	
		28 ⑬	(年内最終授業日)	29		30	年末年始休暇	31	年末年始休暇						
	1月										1	元日	2		3
		4		5		6		7		8		9		10	
		11	成人の日	12 ⑬	(年明け授業開始日)	13 ⑭		14 ⑭		15 ⑭		16		17	
		18 ⑭		19 ⑭		20 ⑮	授業/期末試験	21 ⑮	授業/期末試験	22 ⑮	授業/期末試験	23		24	
		25 ⑮	授業/期末試験	26 ⑮	授業/期末試験	27	実技試験	28	実技試験	29	実技試験	30	一般選抜A日程 特待生選抜	31	
2月			1	実技試験	2		3	追試験	4		5		6	創立記念日	7
		8		9		10		11	電気点検 建国記念日	12		13	総合型選抜Ⅴ期 学校推薦型選抜Ⅲ期	14	
		15		16	進級・卒業判定 教授会	17	卒業者発表	18		19		20		21	
		22		23	天皇誕生日	24		25	再試験	26		27	一般選抜B日程 特別選抜C日程 編入学選抜Ⅱ期	28	
		1		2	追加卒業判定 教授会	3		4	追加卒業者発表	5		6		7	
	3月		8		9		10		11	学位授与式	12		13		14
		15	一般選抜C日程 編入学選抜Ⅲ期 大学院選抜Ⅲ期	16		17		18		19		20		21	春分の日
		22	振替休日	23	教員総会	24		25		26		27		28	オープンキャンパス
		29		30		31									

学費

□ 大学

(単位：円)

学部	学科	入学金	授業料	教育充実費	合計
芸術情報学部	情報表現学科	250,000	1,000,000	400,000	1,650,000
	音楽表現学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
	音楽応用学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
	舞台表現学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
	芸術表現学科	250,000	1,250,000	400,000	1,900,000
総合政策学部	総合政策学科	200,000	750,000	250,000	1,200,000
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	200,000	800,000	280,000	1,280,000

※音楽表現学科、音楽応用学科、舞台表現学科は、2026年4月学生募集停止

□ 大学院

(単位：円)

研究科	専攻	入学金	授業料	教育充実費	合計
芸術情報研究科	情報表現専攻	185,000	850,000	200,000	1,235,000
	音楽表現専攻	185,000	1,100,000	200,000	1,485,000
総合政策研究科	政策行政専攻	140,000	680,000	120,000	940,000

特待制度

特待制度の状況

① 特待生選抜（入学試験特待生（試験成績優秀者））

特待生を希望し、入学試験（特待生選抜）において本学の基準を満たす成績を修めた者を対象として、試験結果の上位から選定します。

定員：10名以内（一般選抜募集人員に含む）

免除額：授業料全額、授業料半額、授業料の30%の3種類

② 在学生特待制度（成績優秀者）

在学生のうち学業成績の優秀な者を特待生として処遇し、勉学を奨励します。

減免額…授業料全額（最大）

人数…18名（各学科・各学年（2・3・4年）から1名）

対象…前年度までの学業成績（GPA（累計））上位者

入学試験特待生

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	芸術表現	総合政策	スポーツマネジメント
1年	0				4	0	0
2年	5	2	2	0		0	0
3年	2	1	1	0		0	0
4年	3	1	6	0		1	2

スポーツ特別奨学生

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	芸術表現	総合政策	スポーツマネジメント
1年	1				0	3	8
2年	0	0	0	0		5	14
3年	0	0	0	0		1	13
4年	0	0	0	0		2	7

在学生特待制度（成績優秀者）

	情報表現	音楽表現	音楽応用	舞台表現	総合政策	スポーツマネジメント
2年	1	1	1	1	1	1
3年	1	1	1	1	1	1
4年	1	1	1	1	1	1

※2025年4月入学生までの制度

奨学金

□ 日本学生支援機構奨学金

教育の機会均等の理念のもと、意欲と能力のある学生等が、自らの意志と責任において大学等で学ぶことができるよう、国の重要な教育事業として実施されています。

◇貸与奨学金

勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないように支援することを目的として国が実施する制度です。貸与奨学金(借入金)には返還の必要があります。

○種類(金額は月額)

学部生

・第一種奨学金(無利子)

自宅通学者: 20,000 円、30,000 円、40,000 円、54,000 円

自宅外通学者: 20,000 円、30,000 円、40,000 円、50,000 円、64,000 円

※給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、貸与を受けられる月額が給付奨学金の支援区分等に応じて調整されます。

※申込時の家計収入が一定額以上の場合、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

・第二種奨学金(有利子)

20,000 円から 120,000 円までの間で、10,000 円単位で月額を選択できます。

大学院生(修士課程相当)

・第一種奨学金(無利子)

50,000 円、88,000 円

・第二種奨学金(有利子)

50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円

○推薦基準(詳細は日本学生支援機構 HP をご覧ください。)

①学力基準

学部生

・「第一種奨学金のみ」または「併用貸与」

1 年次生: 高等学校または専修学校高等課程最終 2 か年の成績の平均が 3.5 以上であること。または、高等学校卒業程度認定試験合格者であること。

2 年次生以上: 本人の属する学部(科)の上位 3 分の 1 以内であること。

・「第二種奨学金」

出身学校または在籍する学校における成績が平均水準以上と認められること。

大学院生

・「第一種奨学金のみ」または「併用貸与」

大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要な高度の能力を備えて活動できると認められること。

・「第二種奨学金」

大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

②家計基準

学部生

・生計維持者が次の「家計基準」に該当する必要があります。

【第一種・第二種併用貸与】生計維持者の貸与額算定基準額(※1)が 164,600 円以下であること

【第一種奨学金】生計維持者の貸与額算定基準額が 189,400 円以下であること

【第二種奨学金】生計維持者の貸与額算定基準額が 381,500 円以下であること

※1 貸与額算定基準額(a)=課税標準額×6%-調整控除額(b)-多子控除(c)-ひとり親控除(d)-私立自宅外控除(e)

(a) 市町村民税所得割が非課税の人は、この計算式にかかわらず、貸与額算定基準額が 0 円となります。

ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除等の適用を受けている場合、家計基準の判定に影響しません。

(b) 政府指定都市に対して市民税を納税している場合は、(調整控除額)に 4 分の 3 を乗じた額となります。

(c) 生計維持者が 2 人を超える子供を扶養している場合、2 人を超える子ども 1 人につき 40,000 円を控除します。

(d) ひとり親世帯に該当する場合に 40,000 円を控除します。

(e) 在学採用の審査において、本人が本学に在籍し自宅外通勤の場合に 22,000 円を控除します。

大学院生

本人の収入(定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金、その他の収入により本人が 1 年間に得た金額)と配偶者の定職収入の合計額が、日本学生支援機構が設定した基準以下であること。

◇給付奨学金(高等教育の修学支援新制度)

経済的理由で大学・専門学校等への進学をあきらめないよう、2020 年 4 月から開始した制度です。

意欲と能力のある学生が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、支援を受けることができます。

また、給付奨学の対象となれば、授業料等が減免されます。原則として返還義務のない奨学金を支給する。
なお、2025年より修学支援制度が拡充され、多子世帯(扶養する子どもが3人以上いる世帯)を対象に、所得制限なく授業料減免支援が行われます。

○支給額

給付奨学生として採用されてから卒業する(修業年限の終期)まで、世帯の所得金額に基づく区分に応じて、学校の設置者(国公立・私立)及び通学形態(自宅通学・自宅外通学)により定まる下表の金額(月額)が、原則として毎月振り込まれます。

【私立大学の場合】

<自宅通学者>

第Ⅰ区分:38,300円(42,500円)

第Ⅱ区分:25,600円(28,400円)

第Ⅲ区分:12,800円(14,200円)

第Ⅳ区分:9,600円(10,700円)

<自宅外通学者>

第Ⅰ区分:75,800円

第Ⅱ区分:50,600円

第Ⅲ区分:25,300円

第Ⅳ区分:19,000円

1.生活保護世帯(扶助の種類を問いません。)を受けている生活維持者(父母等)と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し、「自宅通学」扱いの人は、自宅通学者のカッコ内の金額となります。

2.自宅通学とは、学生が生計維持者(父母等)と同居している(またはこれに準ずる)状態のことをいいます。「自宅外通学」の月額を選択する場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要です。

○貸与奨学金(第一種奨学金・第二種奨学金)を併せて利用する場合

給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。なお、第二種奨学金の貸与月額には、給付奨学金の利用は影響しません。

【給付奨学金受給中の第一種奨学金の貸与月額(私立大学)(単位:円)】

<自宅通学者>

第Ⅰ区分:0円

第Ⅱ区分:0円

第Ⅲ区分:21,700円(20,000、30,300)円

第Ⅳ区分:0円

<自宅外通学者>

第Ⅰ区分:0円

第Ⅱ区分:0円

第Ⅲ区分:19,200円

第Ⅳ区分:0円

※生活保護(扶助の種類を問いません)を受けている生活維持者(父母等)と同居している人及び社会的養護を必要とする人で児童養護施設等から通学し、「自宅通学」扱いの人は、カッコ内の金額となります。

○申込資格(詳細は日本学生支援機構HPをご覧ください。)

次の(1)及び(2)の両方に該当する人が申し込みます。

(1)大学等への入学時期等に関する資格

(2)在留資格等に関する資格

○選考基準(詳細は日本学生支援機構HPをご覧ください。)

給付奨学金の支給を受けるには、次の(1)と(2)の両方を満たす必要があります。

(1)学業成績等に係る基準

学業成績等に係る基準は以下のとおりです。

【1年次】

次の1~3のいずれかに該当すること。

1:高等学校等における評定平均値が3.5以上であること、又は、入学者選抜試験の成績が入学者の上位2分の1の範囲に属すること

2:高等学校卒業程度認定試験の合格者であること

3:将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

【2 年次以上】

次の 1、2 のいずれかに該当すること。

- 1: GPA(平均成績)等が在学する学部等における上位 2 分の 1 の範囲に属すること
- 2: 修得した単位数が標準単位数以上であり、かつ、将来、社会で自立し、活躍する目標を持って学修する意欲を有していることが、学修計画書等により確認できること

※採用基準となる GPA、修得単位数はともに「入学時から前年度(前学年)末までの累積」によって判定されます。

※標準単位数以上でないことについて、災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められる場合には、修得単位数が標準単位数未満であっても、学修意欲を有することが確認できれば、この基準を満たすこととなります。

※標準単位数＝卒業に必要な単位数÷修業年限×申込者の在学年数

ただし、在学中の学業成績が次の 1.～3.のいずれかの基準に該当する場合は、支給対象外となります。

【支給対象外】

1. 修業年限で卒業又は修了できないことが確定したこと。
2. 修得した単位数の合計数が標準単位数の 5 割以下であること。
3. 履修科目の授業への出席率が 5 割以下であることその他の学修意欲が著しく低い状況にあると認められること。

※1 1.～3.のいずれかの基準に当てはまる場合であっても、災害・傷病、その他のやむを得ない事由がある場合は、支給対象となり得ます。

※2 編入学や転学をしている場合、編入学や転学前の学校で 1.～3.のいずれかの基準に当てはまる場合は採用となりません。

(2)家計に係る基準(収入基準・資産基準)

あなたと生計維持者が、次の「収入基準」及び「資産基準」のいずれにも該当する必要があります。

父母がいる場合は、原則として父母(2名)が「生計維持者」となりますが、生計維持者が誰であるか不明な場合は、日本学生支援機構 HP の「生計維持者について」、もしくは「生計維持者に係る Q&A」をご確認ください。

1.収入基準

収入基準は以下のとおりです。(日本学生支援機構 HP 内の「進学資金シミュレーター」で、収入基準に該当するかおおよその確認ができますので、ご利用ください。)

【第Ⅰ区分】あなたと生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること(※1)。

【第Ⅱ区分】あなたと生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が 100 円以上 25,600 円未満であること。

【第Ⅲ区分】あなたと生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が 25,600 円以上 51,300 円未満であること。

【第Ⅳ区分】あなたと生計維持者の支給額算定基準額(※2)の合計が 51,300 円以上 154,500 円未満であること。

※1 ふるさと納税、住宅ローン控除等の税額控除の適用を受けている場合、収入基準判断に影響しません。

※2 支給額算定基準額(a)＝課税標準額×6%－(調整控除額＋調整額)(b)(100 円未満切り捨て)

支給額算定基準額を算出するための「課税標準額」「調整控除額」「調整額」は、課税証明書や所得証明書に必ず記載されているものではありません。なお、「マイナポータル」を活用すれば、市町村民税の課税標準額などを調べることができます。

(a)市町村民税所得割が非課税の人は、(※1)の場合を除き、この計算式にかかわらず、支給額算定基準額が 0 円となります。

(b)政令指定都市に対して市民税を納税している場合は、(調整控除額＋調整額)に 4 分の 3 を乗じた額となります。

2.資産基準

あなたと生計維持者(2人)の資産額の合計が 5,000 万円未満であること。

対象となる資産の範囲は以下のとおりです。

土地・建物等の不動産は対象になりません。また、住宅ローン等の負債と相殺することはできません。

・現金及びこれに準ずるもの(投資信託、投資用資産として保有する金・銀等)

※退職金も含まれます。

・預貯金(普通預金、定期預金)、有価証券(株式、国債、社債、地方債等)

※少額投資非課税制度(NISA)による投資額も含まれます。有価証券や投資信託は時価で換算してください。

・満期や解約により現金化した保険

※満期・解約前の掛け金は含みません。また、貯金型生命保険や学資保険も含みません。

日本学生支援機構奨学金 給付・貸与者数

学部	学科	種別	1年	2年	3年	4年	種別計
芸術情報学部	情報表現学科	給付	35	54	57	43	189
		第一種	22	40	42	27	131
		第二種	43	51	67	56	217
	芸術表現学科	給付	22				22
		第一種	12				12
		第二種	29				29
	音楽表現学科	給付		24	8	16	48
		第一種		11	13	6	30
		第二種		22	15	16	53
	音楽応用学科	給付		25	13	7	45
		第一種		13	10	8	31
		第二種		18	10	17	45
	舞台表現学科	給付		11	5	1	17
		第一種		5	5	3	13
		第二種		10	10	7	27
総合政策学部	総合政策学科	給付	5	23	12	7	47
		第一種	4	6	6	5	21
		第二種	11	18	11	13	53
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	給付	25	71	61	42	199
		第一種	13	51	34	33	131
		第二種	36	69	59	54	218
学年別計		給付計	87	208	156	116	567
		第一種計	51	126	110	82	369
		第二種計	119	188	172	163	642
		合計	257	522	438	361	1578

□授業料等減免（高等教育の修学支援新制度）

日本学生支援機構 給付奨学金と同一の基準となっており、給付型奨学金の対象者が併せて対象者となります。世帯収入に応じた4段階の区分で支援額が決まります。

◇減免額一覧

○入学金

学 部	第 1 区分	第 2 区分	第 3 区分	第 4 区分
芸術情報学部	250,000 円	166,700 円	83,400 円	-
総合政策学部	200,000 円	133,400 円	66,700 円	-
スポーツマネジメント学部	200,000 円	133,400 円	66,700 円	-

○授業料（年間）

2020 年度以降入学者

学 部	第 1 区分	第 2 区分	第 3 区分	第 4 区分
全学部	700,000 円	466,700 円	233,400 円	-

□授業料等減免（多子世帯支援）

修学支援新制度が拡充され、多子世帯を対象に、所得制限なく授業料等減免支援が行われます。

◇減免額一覧

○入学金

学 部	第 1 区分(多子世帯)	第 2 区分(多子世帯)	第 3 区分(多子世帯)	第 4 区分(多子世帯)
芸術情報学部	250,000 円	250,000 円	250,000 円	250,000 円
総合政策学部	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円
スポーツマネジメント学部	200,000 円	200,000 円	200,000 円	200,000 円

○授業料（年間）

学 部	第 1 区分(多子世帯)	第 2 区分(多子世帯)	第 3 区分(多子世帯)	第 4 区分(多子世帯)
全学部	700,000 円	700,000 円	700,000 円	700,000 円

学生データ

□ 入学者数

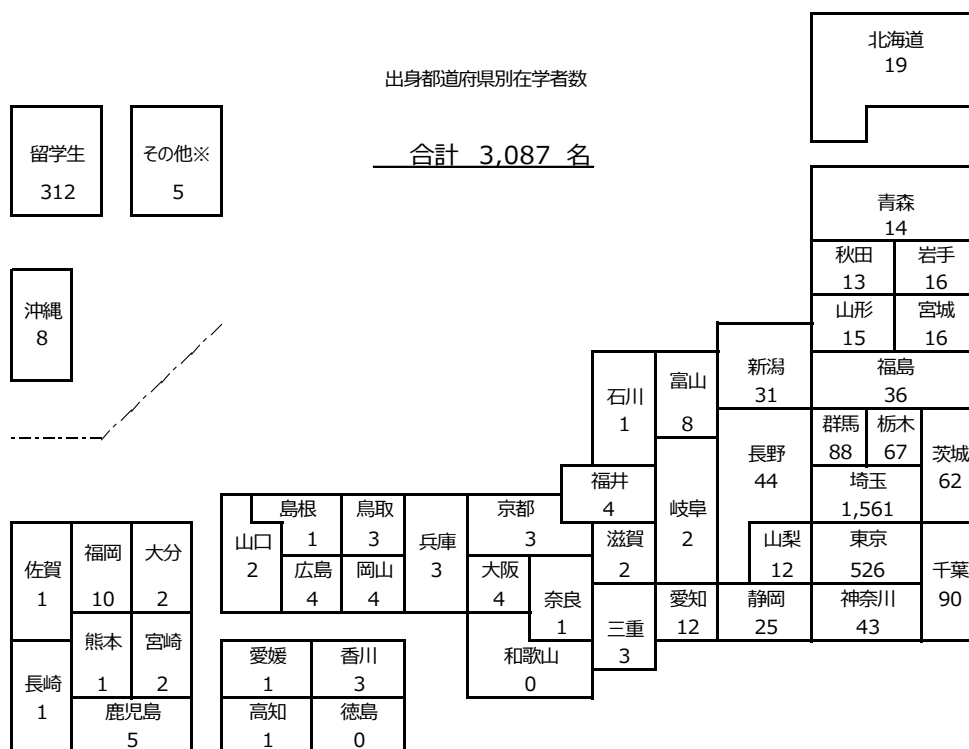
学部	志願者	入学者
芸術情報学部	761	500
編入学	46	25
合計	807	525
総合政策学部	72	60
編入学	13	9
合計	85	69
スポーツマネジメント学部	269	235
編入学	4	2
合計	273	237

研究科	志願者	入学者
芸術情報研究科	228	32
総合政策研究科	9	8

□ 学生数

学部	在籍者数	研究科	在籍者数
芸術情報学部	1870	芸術情報研究科	64
総合政策学部	283	総合政策研究科	13
スポーツマネジメント学部	857		

□ 出身地別在学生情報



※在留資格が「留学」以外の留学生

□ 留学生出身国・地域（学部・大学院在籍者、休学者を含む）

国名	人数	国名	人数	国名	人数
中華人民共和国	253	大韓民国	28	ベトナム	7
マレーシア	7	台湾	3	ネパール	6
ロシア	1	イラン	4	カナダ	1
バングラデシュ	1	アメリカ合衆国	1		

□ 社会人学生数

学部	人数
芸術情報学部	0
総合政策学部	0
スポーツマネジメント学部	0
芸術情報研究科	0
総合政策研究科	0

□ 学部卒業生数

学部	学科	令和7年度 (2025年度) 卒業生数	入学年度別内訳						
			R4 (2022)	R3 (2021)	R2 (2020)	R1 (2019)	H30 (2018)	編入	再入学
芸術情報学部	情報表現学科	222	192	8	5	3	0	13	1
	音楽表現学科	51	37	2	2	0	0	10	0
	音楽応用学科	77	58	12	1	0	1	4	1
	舞台表現学科	34	30	0	1	0	0	3	0
総合政策学部	総合政策学科	89	71	9	2	0	0	7	0
スポーツマネジメント学部	スポーツマネジメント学科	162	150	6	1	0	0	5	0
合計		635	538	37	12	3	1	42	2

□ 大学院修了生数

—の年度に修了した者のうち、学位を取得するために要した年数ごとの修了生の割合

研究科	専攻	令和7年度 (2025年度) 修了生数	2年	3年	4年
芸術情報研究科	情報表現専攻	22	100%	0.0%	0.0%
	音楽表現専攻	12	100%	0.0%	0.0%
総合政策研究科	政策行政専攻	3	100%	0.0%	0.0%
合計		37			

□ 卒業生・修了生総数

卒業生総数 (大学)	修了生総数 (大学院)	合計
14,063	610	14,673

□ 学位取得状況

入学年	学科	学位名称	入学者	学位取得者	学位取得状況
R4 (2022)	芸術情報学部 情報表現学科	学士（芸術情報）	256	192	75.0%
	芸術情報学部 音楽表現学科	学士（芸術情報）	52	37	71.2%
	芸術情報学部 音楽応用学科	学士（芸術情報）	77	58	75.3%
	芸術情報学部 舞台表現学科	学士（芸術情報）	41	30	73.2%
	総合政策学部 総合政策学科	学士（総合政策）	94	71	75.5%
	スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科	学士（スポーツマネジメント）	192	150	78.1%
計			712	538	75.6%

※編入学、再入学を除く

□ 大学院における学位授与の状況に関する情報

標準修業年限（2年）以内で修了した者の占める割合、その他学位授与の状況に関すること

入学年	専攻	学位名称	入学者	標準修業年限以内での 修了者の数（割合）	長期履修学生の数 （割合）	休学等による 留年者の数（割合）	退学者の数 （割合）
R6 (2024)	芸術情報研究科 情報表現専攻	修士（情報表現）	22	22（100%）	0（0.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）
	芸術情報研究科 音楽表現専攻	修士（音楽表現）	13	12（72.3%）	1（7.7%）	0（0.0%）	0（0.0%）
	総合政策研究科 政策行政専攻	修士（総合政策）	4	3（75.0%）	0（0.0%）	0（0.0%）	1（25.0%）
	計		39	37（94.9%）	1（2.6%）	0（0.0%）	1（2.6%）

□ 卒業後の進路状況

令和7年度（2025年度）（全卒業生＝国内生＋留学生）

学科名	卒業生数 ※1	進路の内訳						
		就職 希望者数	就職者数 (就職率%※2)		進学者数※3 (大学院)		自営(家業) フリーランス 起業等者数	その他※4
情報表現学科	222	157	149	(94.9)	7	(3)	8	58
音楽表現学科	51	26	25	(96.2)	4	(1)	3	19
音楽応用学科	77	57	46	(80.7)	1	(1)	2	28
舞台表現学科	34	17	16	(94.1)	0	(0)	8	10
芸術情報学部 計	384	257	236	(91.8)	12	(5)	21	115
総合政策学科	89	70	62	(88.6)	3	(1)	5	19
ライフマネジメント学科	0	0	0	(0)	0	(0)	0	0
総合政策学部 計	89	70	62	(88.6)	3	(1)	5	19
スポーツマネジメント学科	162	149	147	98.7	0	(0)	5	10
スポーツマネジメント学科 計	162	149	147	98.7	0	(0)	5	10
全学 合計	635	476	445	(93.5)	15	(6)	31	144

※1 卒業生数＝就職者数＋進学者数＋自営(家業)・フリーランス・起業等者数＋その他

※2 就職率＝就職者数／就職希望者数

※3 進学者数＝大学院進学者数＋専門学校進学者数＋その他の学校進学者数＋留学者数 () 内は大学院進学者数

※4 その他＝就職活動継続者＋アルバイト＋家事従事＋就職希望せず＋帰国(留学生)＋不明

令和7年度（2025年度）（全卒業生＝国内生のみ）

学科名	卒業生数 ※1	進路の内訳						
		就職 希望者数	就職者数 (就職率%※2)		進学者数※3 (大学院)		自営(家業) フリーランス 起業等者数	その他※4
情報表現学科	202	147	142	(96.6)	6	(2)	8	46
音楽表現学科	50	26	25	(96.2)	3	(0)	3	19
音楽応用学科	72	55	46	(83.6)	0	(0)	2	24
舞台表現学科	31	15	15	(100)	0	(0)	8	8
芸術情報学部 計	355	243	228	(93.8)	9	(2)	21	97
総合政策学科	79	65	58	(89.2)	2	(0)	5	14
ライフマネジメント学科	0	0	0	(0)	0	(0)	0	0
総合政策学部 計	79	65	58	(89.2)	2	(0)	5	14
スポーツマネジメント学科	161	149	147	(98.7)	0	(0)	5	9
スポーツマネジメント学科 計	161	149	147	(98.7)	0	(0)	5	9
全学 合計	595	457	433	(94.7)	11	(2)	31	120

※1 卒業生数＝就職者数＋進学者数＋自営(家業)・フリーランス・起業等者数＋その他

※2 就職率＝就職者数／就職希望者数

※3 進学者数＝大学院進学者数＋専門学校進学者数＋その他の学校進学者数＋留学者数 () 内は大学院進学者数

※4 その他＝就職活動継続者＋アルバイト＋家事従事＋就職希望せず＋不明

令和7年度（2025年度）（全卒業生のうち留学生のみ）

学科名	卒業生数 ※1	進路の内訳						
		就職 希望者数	就職者数 (就職率%※2)		進学者数※3 (大学院)		自営(家業) フリーランス 起業等者数	その他※4
情報表現学科	20	10	7	(70.0)	1	(1)	0	12
音楽表現学科	1	0	0	(0)	1	(1)	0	0
音楽応用学科	5	2	0	(0)	1	(1)	0	4
舞台表現学科	3	2	1	(50.0)	0	(0)	0	2
芸術情報学部 計	29	14	8	(57.1)	3	(3)	0	18
総合政策学科	10	5	4	(80.0)	1	(1)	0	5
ライフマネジメント学科	0	0	0	(0)	0	(0)	0	0
総合政策学部 計	10	5	4	(80.0)	1	(1)	0	5
スポーツマネジメント学科	1	0	0	(0)	0	(0)	0	1
スポーツマネジメント学科 計	1	0	0	(0)	0	(0)	0	1
全学 合計	40	19	12	(63.2)	4	(4)	0	24

※1 卒業生数＝就職者数＋進学者数＋自営(家業)・フリーランス・起業等者数＋その他

※2 就職率＝就職者数／就職希望者数

※3 進学者数＝大学院進学者数＋専門学校進学者数＋その他の学校進学者数＋留学者数 () 内は大学院進学者数

※4 その他＝就職活動継続者＋アルバイト＋家事従事＋就職希望せず＋帰国(留学生)＋不明

□ 就職先（抜粋）

令和7年度 情報表現学科 就職先一覧

音響・照明・映像・舞台
(株)エイベックス・ミュージッククリエイティブ
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
四季(株)
(株)白川プロ
(株)東芸エンタテインメント
パシフィックアートセンター(株)
電音エンジニアリング(株)
(株)テクニコ
(株)京映アーツ
(株)エス・シー・アライアンス
(株)総合舞台
(株)イースト
ジュノー(株)
(株)ダンスノットアクト
(株)メディア 22 世紀
(株)キューアップ
(株)レイ
日本 TV 映像(株)
(株)テルミック
(株)ダブルアップ
カルチュア・エンタテインメント(株)
(株)SOME
(株)オングストローム
(株)ベネッセコーポレーション
(株)トラストネットワーク
(有)ビジュアルヴォイス

音楽・楽器・エンタメ
(株)ヤマハミュージックジャパン
(株)リルキア

スポーツ
(株)LOIVE
シンコースポーツ(株)

ゲーム・CG・アニメ
(株)バンダイナムコピクチャーズ
(株)バンク・オブ・イノベーション
(株)オー・エル・エム
(株)サンジゲン
(株)Yostar
JUVENAGE(株)
(株)スタジオリングス
(株)クープ
(株)デサン
(株)ConcePione
(株)ゼノス

情報・通信・マスコミ
キーウェアソリューションズ(株)
(株)ジムマネジメント
(株)フォーサムアクティブ
(株)アンヴィル
Y&I Group(株)
(株)BREXA Communications
(株)SK2
(株)テクノジャパン
(株)ジーネクスト
(株)オープンアップ IT エンジニア
富士ソフト(株)

レジャー・観光
(株)東武ホテルマネジメント
(株)平成エンタープライズ
(株)ポケットキャッチ
アールエヌティーホテルズ(株)

医療・福祉
(株)ニチイケアパレス
(株)サザンツリー

サービス
(株)全日警
UT 東芝(株)
(株)オーエンス
(株)マーキュリー
(株)エイジェック
(株)エスプールロジスティクス

サービス(小売)
イオンリテール(株)
(株)ヨドバシカメラ
さが美グループホールディングス(株)
(株)富士薬品
(株)コスモス薬品
(株)ウェディングボックス
(株)マタハリー
(株)スーパーアルプス

メーカー・商社
兼松コミュニケーションズ(株)
アスクール(株)
(株)工芸精器製作所
ジョンソンコントロールズ(株)
(株)ベルハウス
玉屋硝子工業(株)
コネクシオ(株)

金融
足立成和信用金庫
いるま野農業協同組合

公務員
埼玉県警察
狭山市役所

令和7年度 音楽表現学科 就職先一覧

教育機関
群馬県教員 (小学校)
志木市中学校教員 (音楽)
上尾市中学校教員 (音楽)
市立船橋高等学校 (音楽・常勤講師)
学校法人早稲田学園

音響・照明・映像・舞台
(株)レイ
情報・通信・マスコミ
(株)リソースクリエイション
エム・デー・ピー(株)

サービス (小売)
(株)Joshin
(株)コモディイイダ
(株)カーベル

音楽・楽器・エンタメ
島村楽器(株)
(株)ノア

サービス
(株)eSP
(株)BREXA Technology
(株)マーキュリー

メーカー・商社
(株)ヤザワコーポレーション
(株)アローン

レジャー・観光
(株)東京會館
(有)長蔵小屋

令和7年度 音楽応用学科 就職先一覧

音響・照明・映像・舞台
(株)よしもとブロードエンタテインメント
(株)東芸エンタテインメンツ
(株)ウイング
(株)キョードー東北
(株)響映
(株)メディア・インテグレーション
(株)Studio Lis
(株)インターナショナルクリエイティブ
(株)フォルミカデュオ
(株)FUKUMIMI

音楽・楽器・エンタメ
アソビシステム(株)
(株)スターダストプロモーション
(株)第一興商
(株)ヤマハミュージックジャパン
(株)グラウンディングラボ
(株)ゼスト
(株)ライム企画
(株)イーリングプロダクション

サービス
(株)イベント 21
池田ピアノ運送(株)
帝都自動車交通(株)
(株)オープンアップコンストラクション
(株)コプロ・ホールディングス
(株)エジュテックジャパン

メーカー・商社
(株)クオラス
大和インフィリンク(株)
丸井産業(株)
(株)ブルーミング中西

サービス (小売)
オルビス(株)
(株)富士薬品
(株)ベルク
(株)WDI
(株)オアシスティラウンジ
AMJ(株)
Every art (株)

情報・通信・マスコミ
(株)リソースクリエイション
アドバンスジャパン(株)
(株)スイッチュ・ジャパン

医療・福祉
(株)アズパートナーズ
(株)チャーム・ケア・コーポレーション
(株)リンクサポート

令和7年度 舞台表現学科 就職先一覧

音響・照明・映像・舞台
(株)パシフィックアートセンター
(株)TSS プロダクション
情報・通信・マスコミ
インフォテックス(株)
(有)アルジュナ

音楽・楽器・エンタメ
(株)MinyMixCreati 部
サービス
(株)スタッフサービス
(株)マーキュリー
合同会社ハルティア

サービス (小売)
(株)日比谷花壇
(株)マリークワントコスメチック
(株)スーパーストックトーキョー
日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)
(株)スタジオアリス

レジャー・観光
(株)サンリオエンターテイメント
(株)東横イン

令和7年度 総合政策学科 就職先一覧

公務員
埼玉県警察本部
警視庁

教育機関
川越市教育委員会
尚美学園大学

メーカー・商社
東日本旅客鉄道(株)
トヨタモビリティ東京(株)
CREATE Advance(株)
中創商事(株)
アオイ建設(株)
城北伸鉄(株)
デイパーク(株)
中村オートパーツ(株)
デイパーク(株)
川口土木建設工業(株)
コネクション(株)

音響・照明・映像・舞台
(株)フォーミュレーション I.T.S.

情報・通信・マスコミ
サイボウズ(株)
(株)ケイズコーポレーション
(株)システムコーディネイト
(株)バイリンガルゲート

サービス
(株)ベアーズ
西武バス(株)
東京ガスファーストエナジー(株)
(株)共和コーポレーション
(株)リアルキューブ
(株)JAL ナビア
(株)リログループ
(株)ThinkBase
日研トータルソーシング(株)
(株)カンドー
パーソルファクトリーパートナーズ (株)

サービス(小売)
(株)イトーヨーカ堂
(株)ヨドバシカメラ
(株)あきんどシロ
Mother's Industry (株)
(株)クリエイトエス・ディー
(株)Bois

レジャー・観光
(株)常総カントリー倶楽部
AB アコモ(株)

金融
熊谷商工信用組合
東京あおば農業協同組合
那須野農業協同組合
(株)アフラック保険サービス

医療・福祉
社会福祉法人三幸福社会

令和7年度 スポーツマネジメント学科 就職先一覧

スポーツ
コナミススポーツ(株)
デサントジャパン(株)
(株)コロンビアスポーツウェアジャパン
野村不動産ライフ&スポーツ(株)
(株)LAVA International
(株)FEEL CONNECTION
(株)スポーツストーリーズ
(株)フクシ・エンタープライズ
(株)総合体育研究所埼玉
ゼビオホールディングス(株)
(株)nobitel
(株)ファクトリージャパングループ
(株)KOHATA ホールディングス
三共スポーツ(株)
ゼビオホールディングス(株)
(株)ワールドフィット
(株)LOIVE
(株)KIDSPOWER
(株)川崎フロンターレ
アルファクラブ武蔵野(株)
一般社団法人図南スポーツクラブ

教育機関
埼玉県教員 (中学校保健体育)
東京都教員 (高等学校保健体育)
埼玉県教員 (小学校全科)
東京都教員 (小学校全科)
埼玉県立川口特別支援学校
さいたま市教育委員会
坂戸市教育委員会
私立桜が丘中学高等学校教員
(株)成美学園
学校法人古藤学園
NPO 法人ふじみ野市学童保育の会

メーカー・商社
(株)しまむら
(株)ホンダカーズ埼玉北
ネットトヨタ埼玉(株)
神奈川トヨタ自動車(株)
栃木ホンダ販売(株)
(株)笹野マックス
日本ウォーターシステム(株)
タクトホーム(株)
日本瓦斯(株)
橋本総業(株)
田島石油(株)

音楽・楽器・エンタメ
(株)ムーヴ

情報・通信・マスコミ
(株)エフティコミュニケーションズ
(株)アクティアス
(株)Enjin
NSS ホールディングス(株)

サービス
ALSOK(株)
(株)ライセンスアカデミー
(株)BREXA Engineering
日本交通(株)
東京ガスリックリビング(株)
(株)グリムス
国際自動車(株)
(株)オープンアップコンストラクション
(株)ビーバーズ
太陽建機レンタル(株)

サービス(小売)
(株)あきんどシロ
(株)すかいらくホールディングス
(株)トレジャー・ファクトリー
(株)ハイデイ日高
(株)おたのしみ研究所
(株)ゲオホールディングス
(株)アントレスト
(株)マミーマート

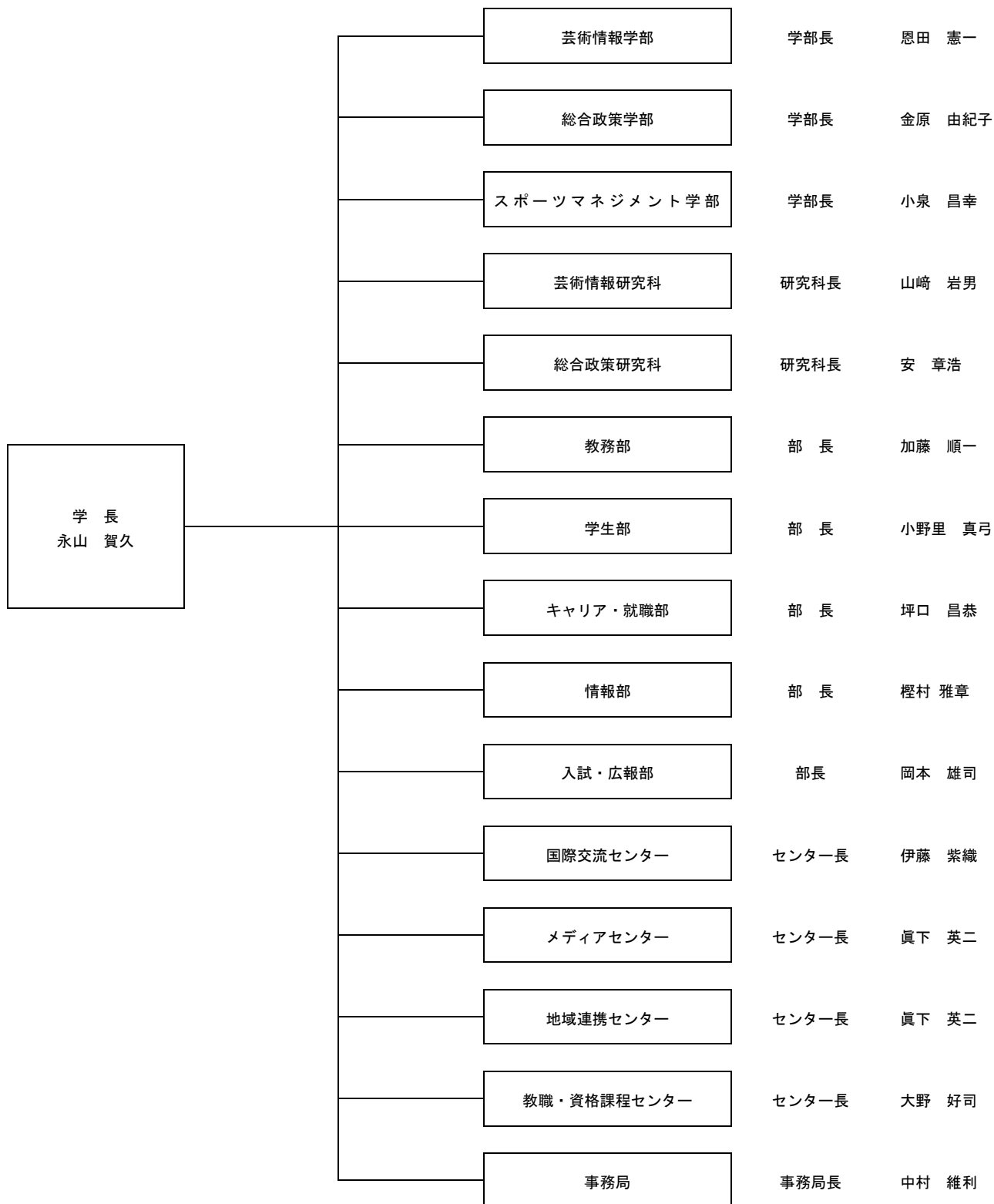
レジャー・観光
東急リゾート&ステイ(株)
(株)TRUNK
(株)遊楽

金融
埼玉懸信用金庫
川口信用金庫
青梅信用金庫
梨北農業協同組合

医療・福祉
(株)木下の介護
医療法人社団ループル
社会福祉法人江寿会
医療法人社団 ALBA

公務員
航空自衛隊
陸上自衛隊

運営組織



事務組織

<事務局>

教務課…授業、学籍関連、証明書、教職課程、学芸員課程に関すること

学生課…学生諸活動、奨学金関連、後援会（保護者会）関連、国際交流・留学生支援に関すること

キャリア・就職課…キャリア支援に関すること

入試・広報課…大学広報、学生募集、入試に関すること

管理課…キャンパス整備、大学全般の庶務に関すること

情報・メディア課…学内ネットワーク、コンピューター、セキュリティ、情報系科目の授業補助、コンピュータープラザの利用、

DX推進、情報化推進、メディアセンターに関すること

総務課…総務、経理、人事、地域連携、尚友会（同窓会）に関すること

大学戦略・IR室…大学改革の支援、大学戦略に関すること

教職員データ

□ 教職員数

専任教員（学長・副学長含まず）	83	非常勤講師	240	教員計	323
専任職員（パートタイム含む）			90	職員計	90

□ 職階別教員数

	教授	准教授	講師	助教	合計
芸術情報学部	33	16	2	0	51
総合政策学部	12	6	0	0	18
スポーツマネジメント学部	7	6	1	0	14
合計	52	28	3	0	83

□ 男女別教員数

専任教員		兼任（非常勤）教員	
男性	女性	男性	女性
67	16	146	94

□ 年齢構成別教員数

	66～70	61～65	56～60	51～55	46～50	41～45	36～40	31～35	26～30	合計
芸術情報学部	8	13	11	7	8	3	0	1	0	51
総合政策学部	1	2	5	5	3	2	0	0	0	18
スポーツマネジメント学部	3	1	1	1	5	1	2	0	0	14
合計	12	16	17	13	16	6	2	1	0	83

□ 科学研究費補助金等研究助成等の状況

	2026年度 採択数
芸術情報学部	2
総合政策学部	2
スポーツマネジメント学部	0

□ [専任教員の保有学位・研究業績等](#)

□ 専任教員一覧 (50音順)

芸術情報学部 情報表現学科 (学科長 石井 満)

【教授】

石井 満	伊藤 紫織	岡本 雄司	恩田 憲一	櫻村 雅章
川口 肇	定平 誠	須藤 智	寺井 智子	土井 直哉
野上 竜一	華山 宣胤	春口 巖	宮澤 光造	山寺 紀康

【准教授】

赤崎 勝彦	大井田 かおり	柿崎 景二	河内 裕二	坂本 サク
里見 慶	福岡 元啓	藤橋 誠		

【専任講師】

熊谷 雅良

芸術情報学部 芸術表現学科 (学科長 竹内 誠)

※がついている教員は、芸術表現学科と兼務

芸術情報学部 音楽表現学科 (学科長 後藤 文夫)

【教授】

片岡 大志※	川島 眞※	河内 純※	小島 有利子※	後藤 文夫※
坪口 昌恭※	藤田 千章※	宮本 憲二※		

【准教授】

齋藤 真由美※ 前田 拓郎※

芸術情報学部 音楽応用学科 (学科長 竹内 誠)

【教授】

井上 昌美※	重野 知央※	竹内 誠※	村木 益実※	
--------	--------	-------	--------	--

【准教授】

漢那 拓也※	古澤 彰※	宮木 朝子※		
--------	-------	--------	--	--

【専任講師】

川浦 義広※

芸術情報学部 舞台表現学科 (学科長 山崎 岩男)

【教授】

伊藤 大※	岡村 宏懇※	小林 仁※	清水 典人※	関 聡太郎※
山崎 岩男※				

【准教授】

青井 智佳子※ 大隅 智佳子※ 三輪 亜希子※

総合政策学部 総合政策学科 (学科長 三野 裕之)

【教授】

加藤 順一	加藤 弘之	金原 由紀子	木村 光太郎	小林 和久
小林 正英	高橋 雅子	伊達 雅彦	眞下 英二	三野 裕之
安 章浩	廖 海濤			

【准教授】

大西 麗衣子	小柳 達也	角谷 淳	田中 啓太	畑中 綾子
御手洗 大輔				

スポーツマネジメント学部 スポーツマネジメント学科 (学科長 梶 孝之)

【教授】

大野 好司	小野里 真弓	梶 孝之	小泉 昌幸	櫻井 光行
荘 発盛	廣瀬 恒平			

【准教授】

田中 充	舟木 泰世	宮坂 雄悟	茂木 康嘉	森田 重貴
若山 典生				

【専任講師】

仁木 康浩

□ [学校法人尚美学園](#) [ホームページ](#)